

Canon

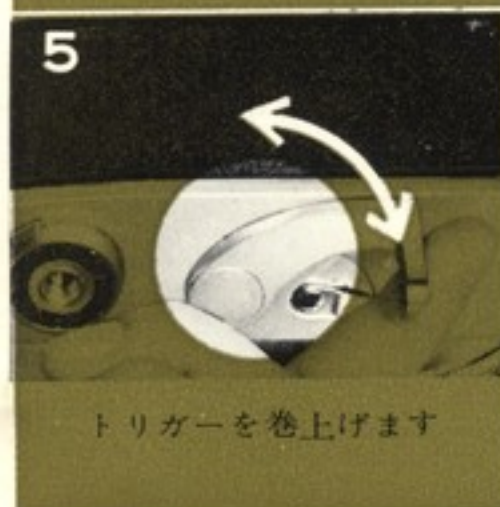
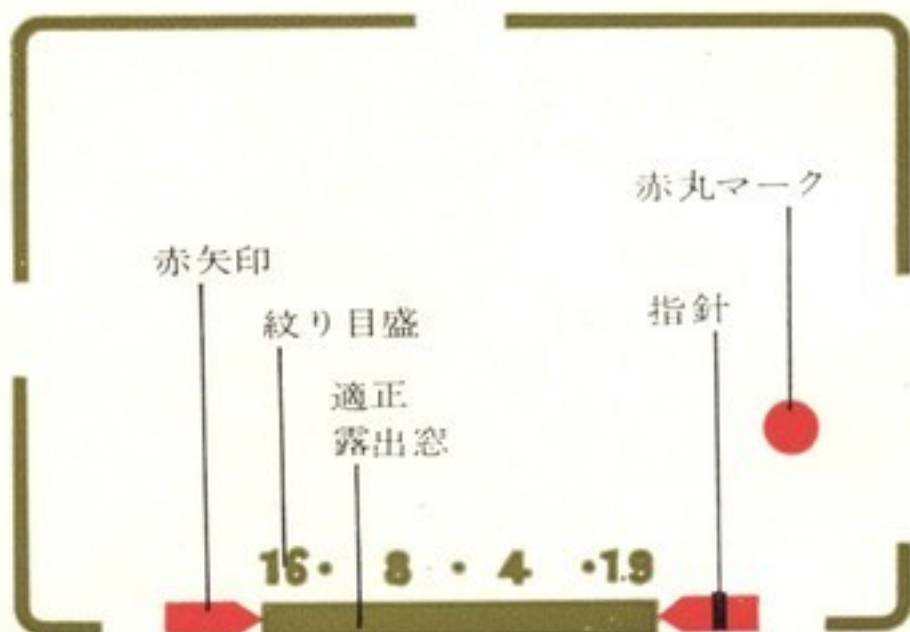
キヤノネット

使用説明書



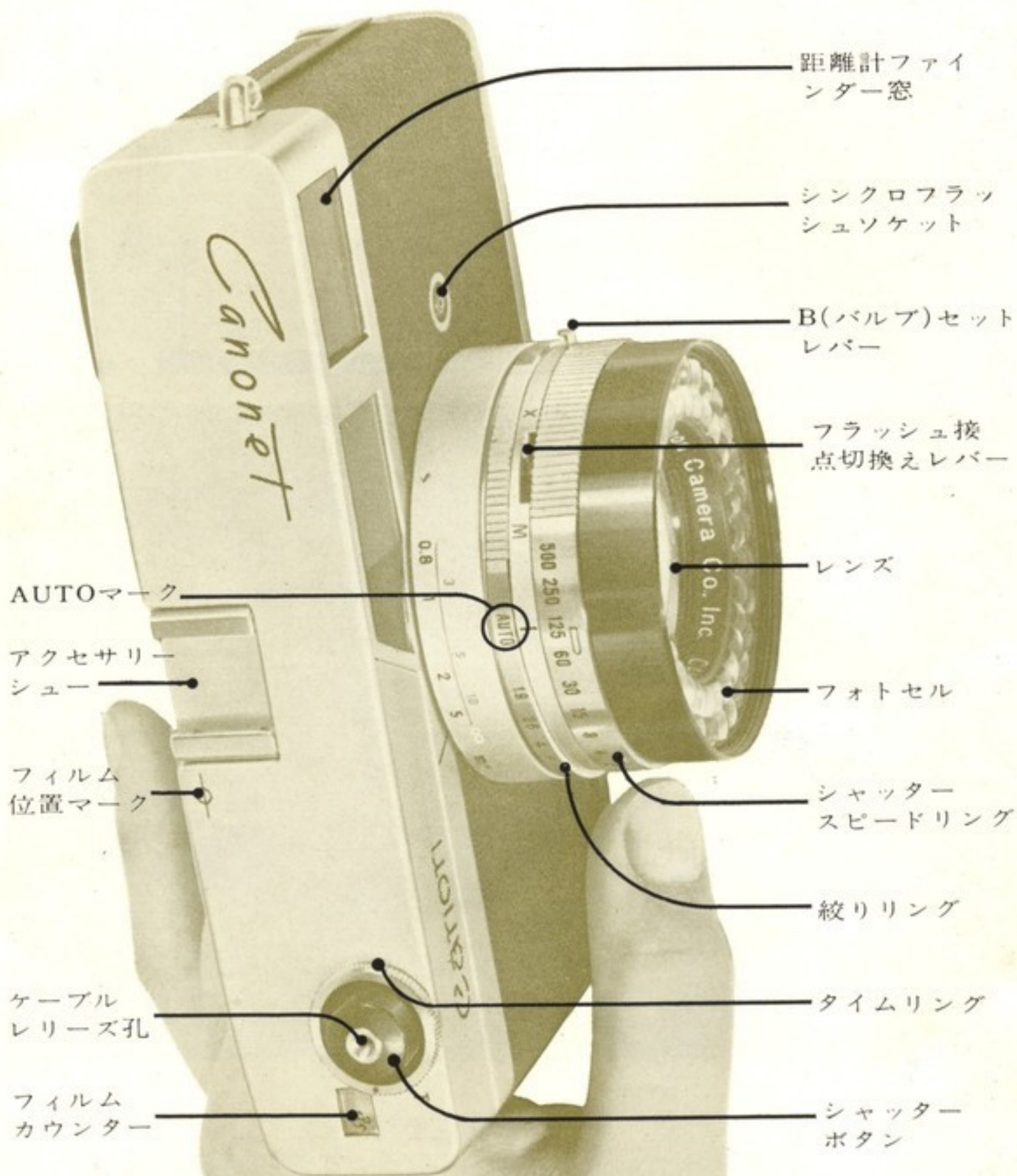


# EE 撮影の手順



- シャッターが切れる … 指針が適正絞りをさす。
- シャッターが切れない … 指針の入っている矢印方向へシャッターリングを回して写す。
- 赤丸がでる … 写せない。EE撮影のできない状態。





●この頁をひらいたまま本文の説明をお読みください  
最後の頁にも反対側から見た写真があります



# キヤノネットの特長

## 1. エレクトリック アイ機構

独特のエレクトリック アイ機構 (E.E.機構) により、シャッターボタンを押すと、まずレンズの絞りが被写体の明るさに応じて自動的に適正値に絞られ、続いてシャッターが切れます。つまり露出については、全部をカメラにまかせきりで立派な写真をとることができます。しかもファインダー内には絞り値の読取りができる表示窓があります。

**EE 機構の作動範囲:** ASA 100 のフィルムに対して LV 5 (F 1.9 で 1/8 秒) ~ LV 17 (F 16 で 1/500 秒)。屋外、屋内の普通の撮影はほとんど全部この範囲に入ります。

## 2. キヤノネットの EE レンズシステム

レンズをかこんで環状に EE 機構のフォトセルが配置されていますので正確な露出のコントロールが可能です。フィルター撮影の場合には、レンズとフォトセルの両方を1枚のフィルターでカバーできますから、フィルター倍数による露出調整の考慮が不必要になります。

## 3. 手動絞りによる普通撮影の兼用

EE 機構の作動範囲外の明るさの場合やフラッシュ撮影の場合、あるいは特殊目的の撮影のためには、手動絞りにより任意に絞りをえらんで撮影することも可能です。

## 4. 各種安全機構の完備

カメラ取扱い上起り得る各種の失敗を防ぐ安全装置が完備しています。

## 5. その他の性能

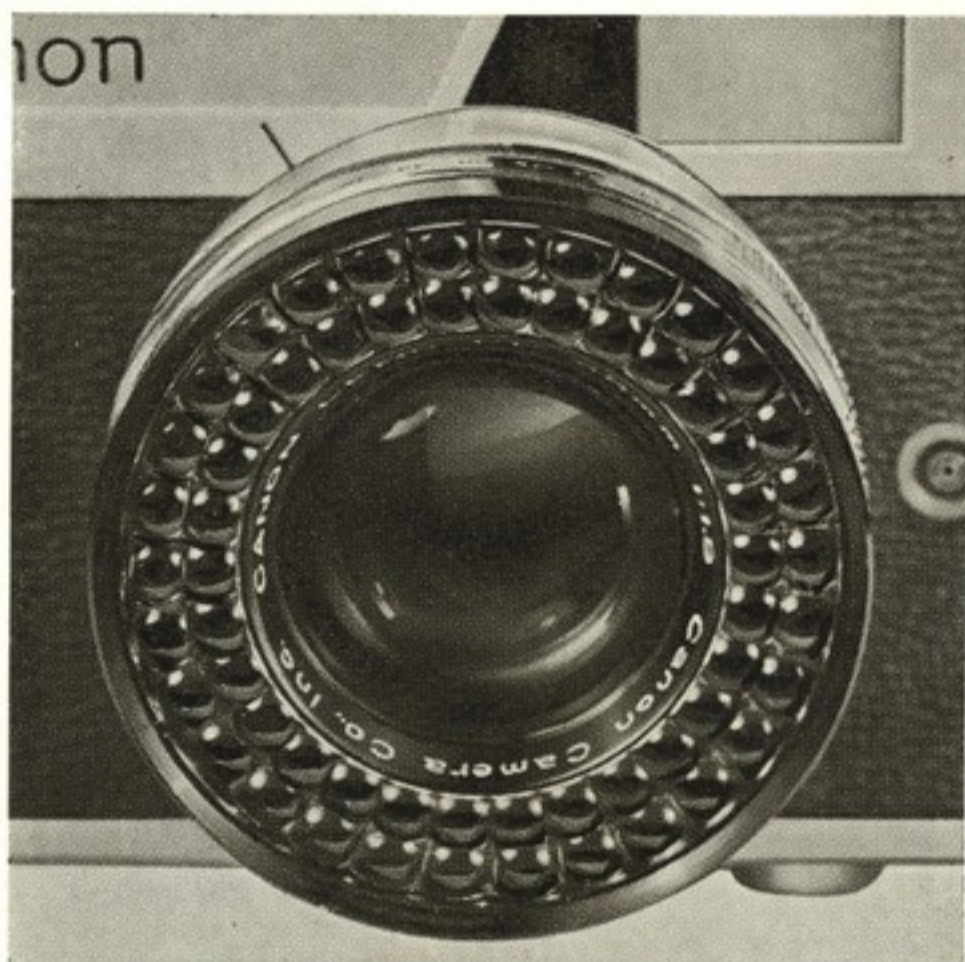
レ　　ン　　ズ:	キヤノンレンズ SE 45 mm F 1.9 ガウスタイプ 4群5枚構成
シャ　ッ　タ　ー:	1/500~1秒倍数系列, B, T, セルフタイマー付
ファ　イ　ン　ダ　ー:	二重像合致式連動距離計兼用のパララックス自動 矯正式, トリミング マーク ファインダー
フィルム巻上げ:	左手用 100° 回転, 底部トリガーレバー
フィルム装填:	パトローネ入りフィルム専用
フラッシュ同調:	M-X 切換え式
フィルムカウンター:	自動復元式



## エレクトリック アイ撮影

エレクトリック アイ (E. E.) 撮影では、カメラを被写体に向けて、シャッターボタンを押すだけで適正露出の撮影ができます。

キヤノネットは正しい露出のときだけシャッターが切れ、露出が多すぎても少なすぎてもシャッターが切れません。ファインダーにはこのEE撮影のガイドとなる指針が組込まれていて、適正絞り数値、シャッタースピードの変更およびEE撮影の不可能な場合などを指示してくれます。



●エレクトリック・アイ撮影の準備	2
●撮 影	4
●EE撮影表示窓とシャッタースピードの変更	8
●セルフタイマー	10



## エレクトリック アイ撮影の準備

エレクトリック アイ撮影を行うには、絞り以外の、前もって撮影に必要な3つの条件をカメラに与えておかなければなりません。

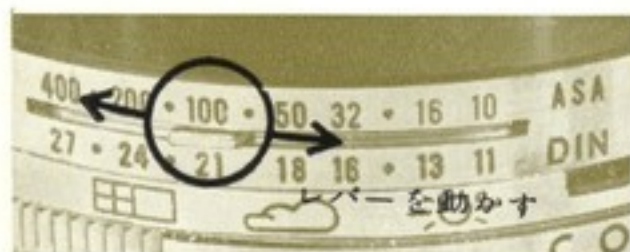
それは...

**1**

絞りリングの AUTO マークを指標に合わせます。



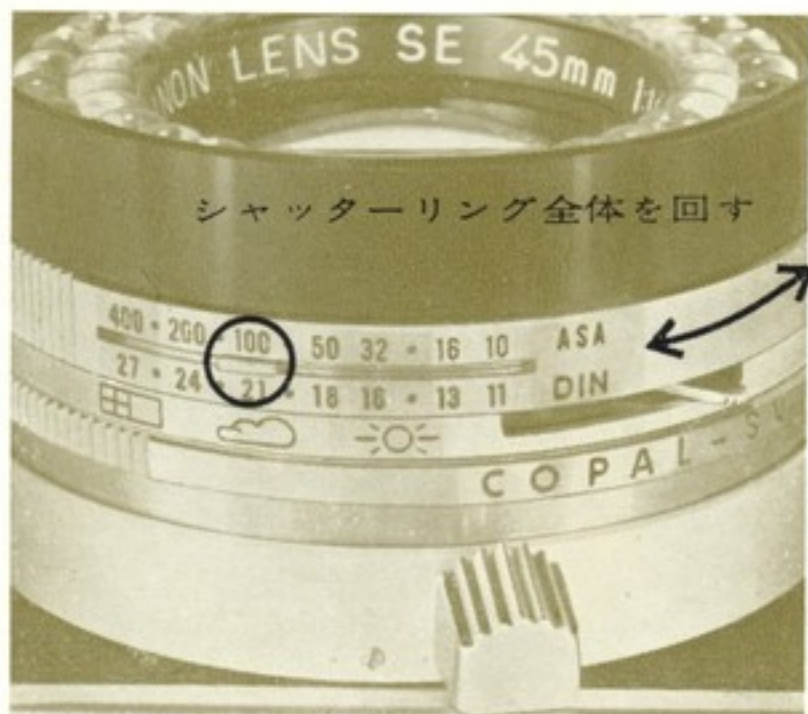
**2**



フィルム感度レバーを動かして使用フィルムの感度目盛に合わせます

**3**

シャッターリング全体を回してフィルム感度レバーのある目盛位置を簡易露出マークの快晴、曇天、室内の何れかに合わせます。



室内



曇天



快晴



●絞りリングには AUTO のほか 1.9 から 16 までの絞り目盛がありますが、EE 撮影には関係ありません。

●フィルム感度表示は次の 11 種でクリックストップがかかります。

ASA	10	16	·	32	50	·	100	·	200	·	400
DIN	11	13	·	16	18	·	21	·	24	·	27
				①			②		③		④

中間の点は ①ASA20~25 DIN 14~15 ②ASA64~80 DIN 19~20 ③ASA125~160 DIN 22~23 ④ASA250~320 DIN 25~26

●普通、黒白フィルムは ASA100、カラーフィルムは ASA 50 程度のものが多く使用されています。

●シャッターリングを回すとき感度表示レバーに手をふれますと数値が動きますからご注意ください。

●簡易露出マークに合わせる際はフィルム感度レバーに手を触れず、かならずシャッターリングを回して行わなければなりません。その合わせ方はおおよその程度でよく、シャッターリングがクリックストップにかかる位置にセットします。この場合のシャッタースピードはシャッターリング上のスピード目盛に示される通りです。

スピード目盛には 1/500, 1/250, 1/125, 1/60, 1/30, 1/15, 1/8, 1/4, 1/2, 1 秒の倍数系列および B 目盛があります。

### B 目盛を EE 撮影に使わないこと

EE 撮影で T 露出や B 露出をすることは意味がありませんし、また EE 機構をそこなうおそれがありますから使用しないでください。

●フラッシュ切換え接点は MX いずれにあっても EE 撮影にはさしつかえありません。

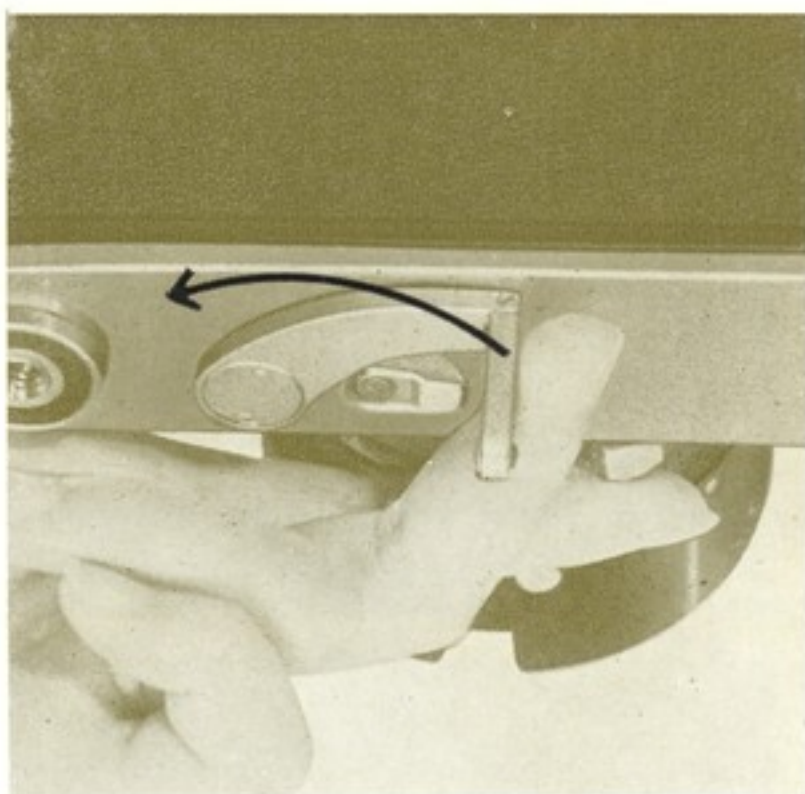
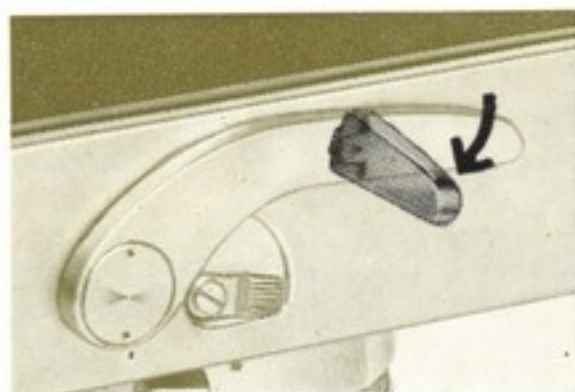
●B 目盛には安全装置がついています。シャッターリングをそのまま回すだけでは 1 秒の位置で止まって B を指標に合わせることができません。12 頁をごらんください。

●シャッタースピードの目盛の中間、たとえば B と 1 秒の間を使用することは絶対におさげください。

1

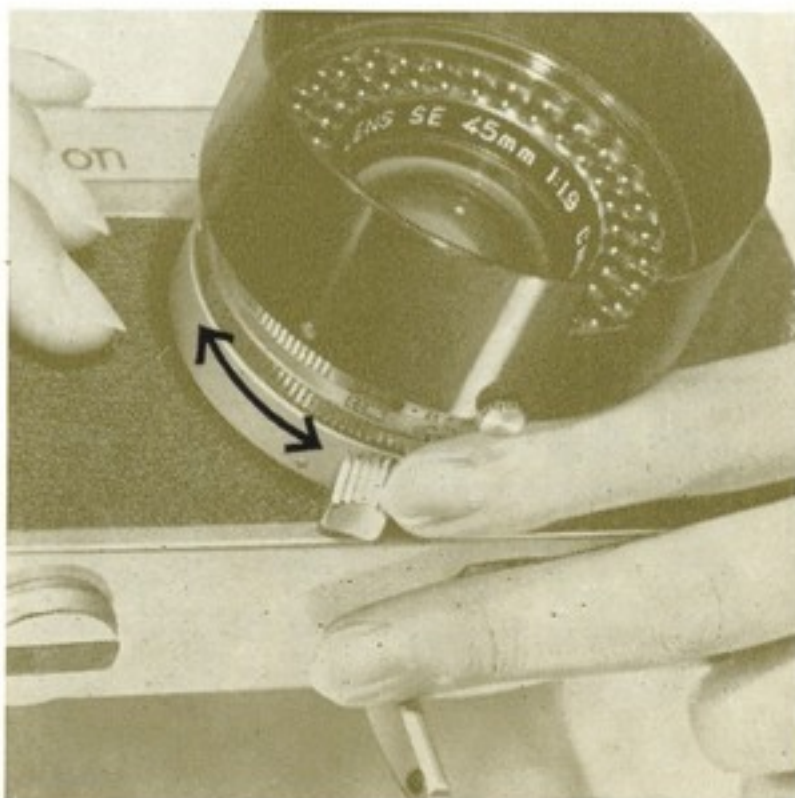
トリガーレバーの巻上げをします。

先端を引きおこし手前に止まるまで回します。



2

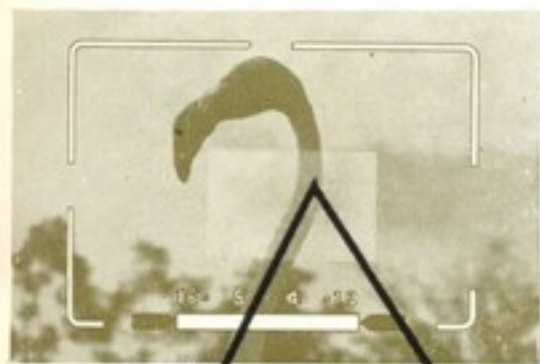
ファインダーをのぞいてピントを合わせます。





トリガーレバーの巻上げによって、フィルムが1コマ分送られシャッターがチャージされます。

- トリガーレバーは止まるまで完全に巻上げること。
- 同時にフィルムカウンターが1目盛進みます。



合っているとき      はずれているとき

フォーカシングレバーを動かすと、ファインダー視野の中央部に見えるやや明るい輪郭内で、被写体の2つの像が、重なったりはずれたりします。2つの像が完全に一致したとき、その被写体にピントが合います



### 3

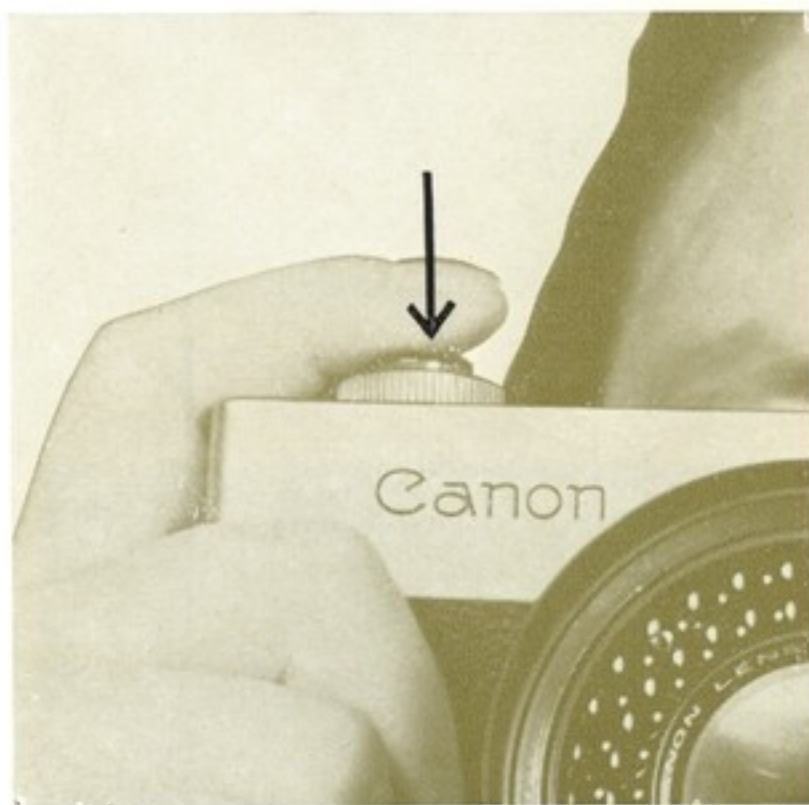
構図をきめます。  
ワクのなかかが写ります。



### 4

ファインダーを見ながら、シャッターボタンを押します。

シャッターボタンは2段階に作動しますから、カメラぶれを起さぬよう静かに押すことが大切です。

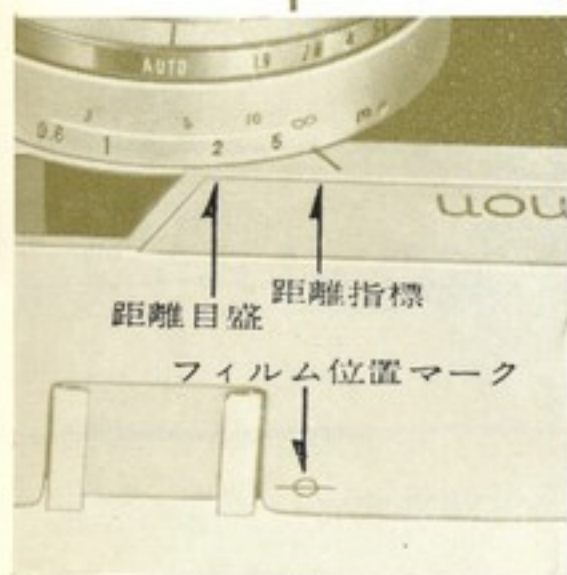


シャッターボタンを押すとファインダー下部の指針が動いて露出の状態を示します。もしシャッターが切れないときは次に説明される指針の指示に従いましょう。  
(8頁)



視野の周辺に見える四角い枠のなかがフィルムに写される画界です。この枠は、ピント合わせに連動して、自動的にパララックス(視差)の矯正をしますから、狙った通りの範囲が完全にフィルム面に収まります。

- シャッターボタン押下げの第一段階では、絞りが自動的に適正露出に絞られ、第2段階ではシャッターがはたります。
- シャッターボタンをむやみにガチャガチャ押さないようご注意ください。
- シャッターがはたらくと再びトリガーレバーの巻上げができます。
- 1秒や1/2秒のようなスローシャッターを使用する際は、シャッターが作動し終るまでボタンを押し続けてください。



### 距離目盛

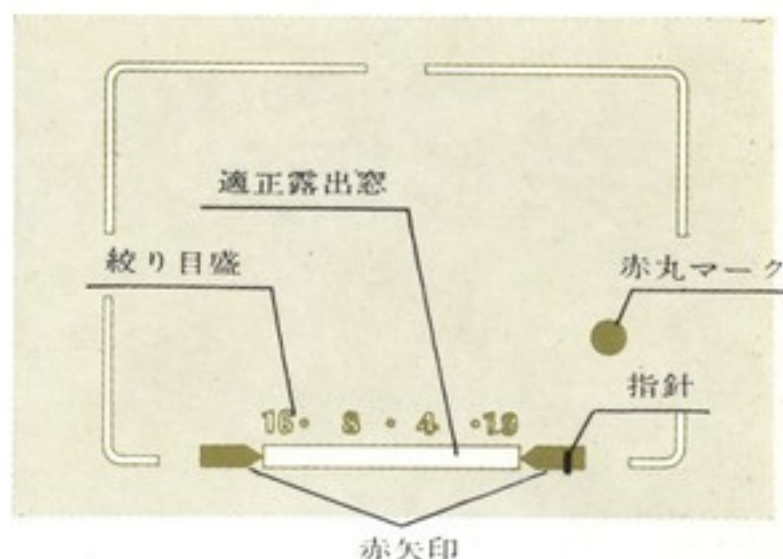
距離目盛は、普通の撮影には必要ありませんが、ピントを合わせた被写体とフィルム面との距離を示すもので、距離指標によって撮影距離を読みとることができます。



## EE 撮影表示とシャッタースピードの変更

ファインダー下部のマークや数字をごらんください。

左右の赤い矢印窓はシャッタースピードの変更マーク、中央の透明部は適正露出窓、上にある数字は絞り目盛です。またエレクトリック・アイ撮影のできない状態では赤丸マークがあらわれます。



シャッターボタンを押してシャッターが切れたとき。

指針は適正露出の絞りを示す。

シャッターボタンを押してもシャッターが切れないとき。

指針が左向き矢印内であればシャッターリングを左へ回せ！

● シャッタースピードを変えれば撮影できる

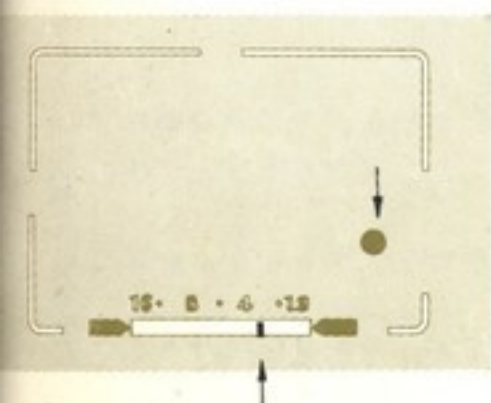
指針が右向き矢印に入ったらシャッターリングを右へ回せ！

● シャッタースピードをかえても写せない

→ 赤丸マークが出たら適正露出窓に針が進んでもEE撮影ができない！（露出計の範囲外）

シャッターリング（または絞りリング）を回すときはシャッターボタンから手を放してください。

シャッターボタンを押すと指針が移動してEE撮影の条件を示します。シャッターが切れないときは下図の指針の指示に従って撮影してください。



- 赤丸マークが出たときは、被写体が極端に明るいか暗いかで露出計の限界を超しているときですからEE撮影をやめねばなりません。(ASA 100 に対して LV 5~17 の範囲外)
- 指針が右向き矢印内に入るのは、シャッタースピードが遅すぎるときです。左向き矢印内に止って動かないのは、シャッタースピードが速すぎる場合です。



- シャッターリングにはファインダーの赤矢印と同じように矢印がついていますからファインダー指針の重なった矢印方向に合わせてシャッターリングを回してください。
- 手動絞りに切換えると、指針は左向き矢印内に止まったまま動きません。
- EE撮影表示窓の上にある絞り目盛の中間の点は右からおおよそ F 2.8, 5.6, 11 を示します。
- トリガーレバーが完全に巻上げられていないと、シャッターボタンを押してもシャッターが切れません。
- 撮影のさい、レンズキャップを必ずはずすこと。
- 主被写体にくらべて、バックが非常に明るい場合や逆光の場合などには、主被写体が露出不足になり勝ちです。そのような場合は、①レンズにEEカバーを取付ける方法と②、特にフィルム感度目盛を一段階位落して撮影する方法があります。②の場合には、たとえばASA 100の感度ならASA 50にセットします。これは例外手段ですから撮影が終わったらすぐフィルム感度目盛を正規に戻してください。この方法も採れない場合は後記の手動絞り撮影に切りかえます。



## セルフタイマー

セルフタイマーを使用するとシャッターボタンを押した後、約10秒程度おくれて、シャッターが作動します。次の順序で行います。

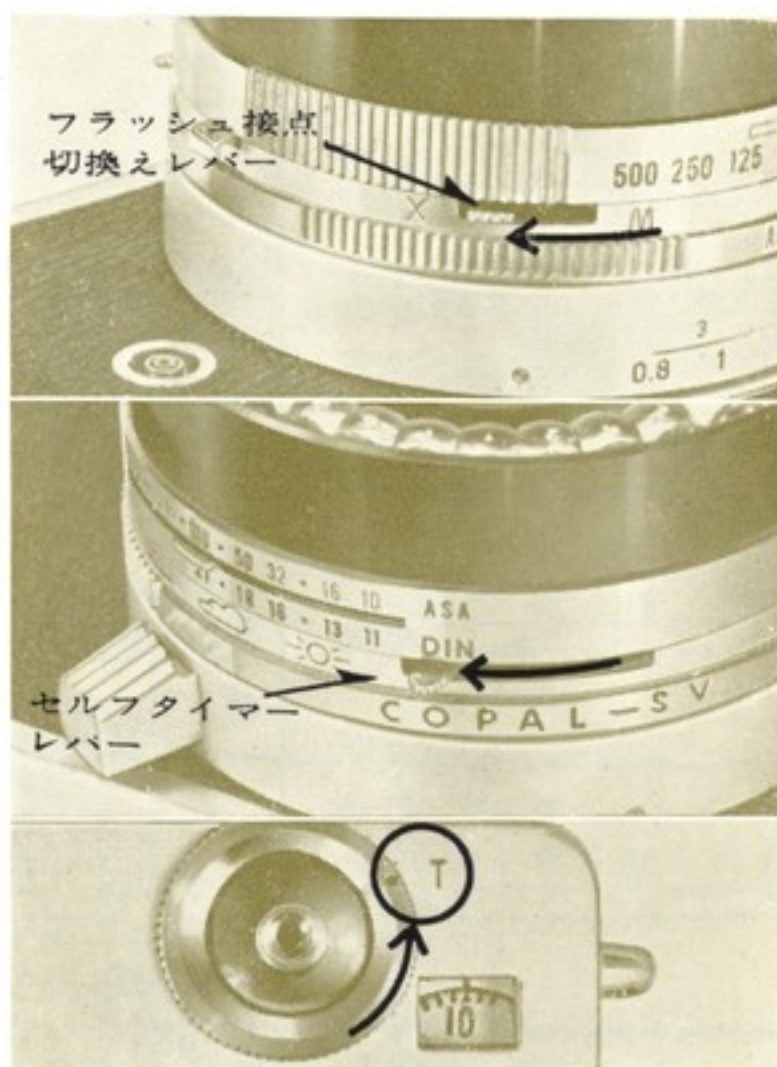
**1** フラッシュ接点切換えレバーをXにします。

**2** セルフタイマーレバーを矢印の方向に動かしてセットし、トリガーレバーを巻きあげます。

**3** シャッターボタンのタイムリングを左回しに回し、標点をTに合わせます。

**4** シャッターボタンを十分に押し下げます。

**5** 撮影後は、タイムリングを元に戻します。



●フラッシュ接点をXに切換えずにセルフタイマーレバーを動かさないこと。

●タイムリングをTに合わせないと適正絞りになりません。

●シャッターボタンは完全にストップするまで十分に押し下しましょう。

●シャッターボタンはカメラのうしろから押し下しましょう。カメラの前に立つと、その陰の明るさに対する適正露出が与えられるため主被写体に正しい露出が与えられなくなります。ご注意ください。

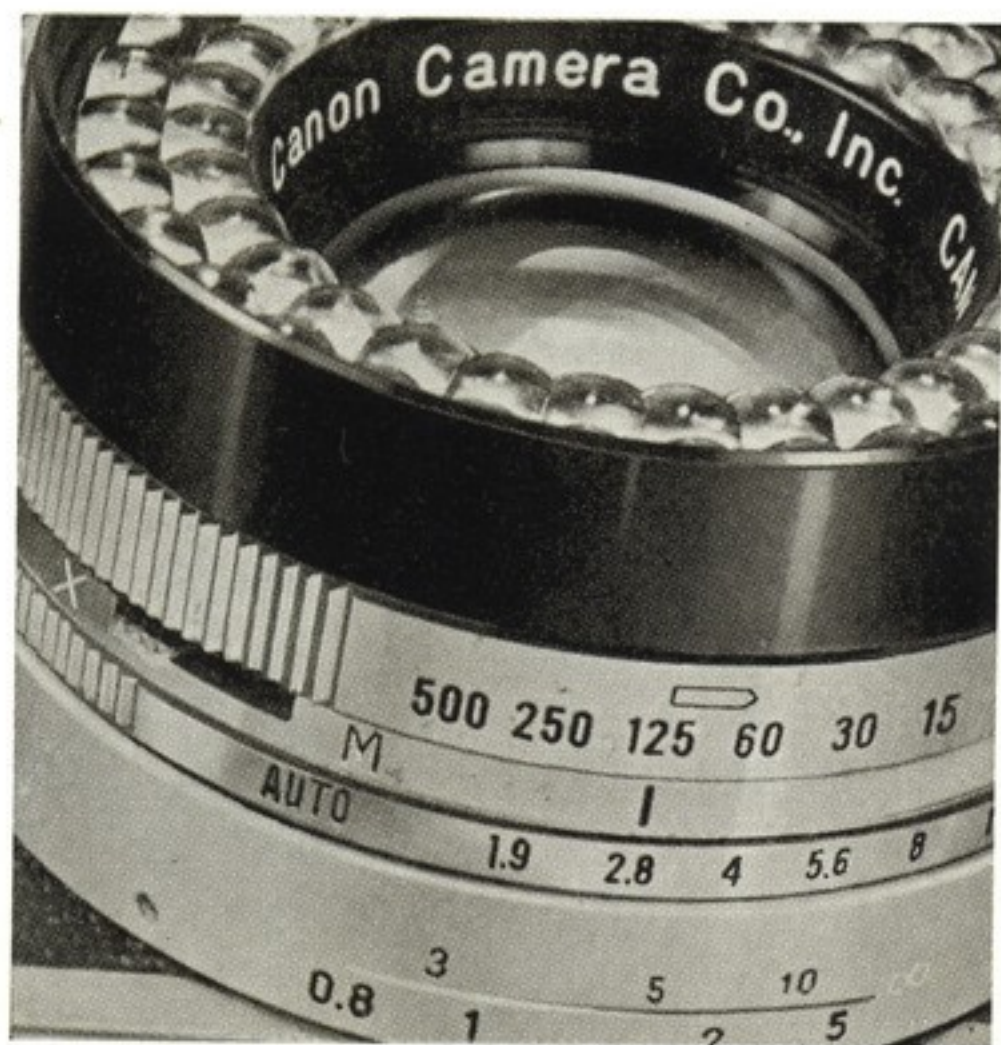
●セルフタイマー使用の場合、M級バルブによる撮影は、1/30秒よりおそいシャッターをお使いください。

●セルフタイマーは、EE撮影だけでなく手動絞り撮影にも利用できますが、そのさいにはタイムリングを回す必要がありません。



## 手動絞りによる撮影

非常に暗い被写体で EE 撮影のできない場合、あるいは特殊の目的で EE 撮影をしたくない場合、またフラッシュ撮影を行う場合には、絞りリングを AUTO からはずして、手動的に望みの絞り値にセットします。シャッターはシャッターリングによって適当なスピード目盛にセットします。トリガーレバーの巻上げ、シャッターボタンの操作などは、EE 撮影のときと変わりありません。なおファインダー内の指針は作用しません。



- B 露出と T 露出
- フラッシュ同調

頁  
12  
13



## B 露出と T 露出 (手動絞り撮影)

### B 露 出

1. 絞りリングを AUTO からはずし手動絞りに合わせます。
2. B セットレバーを押しこんだまま
3. シャッターリングを回して B に合わせます。
4. トリガーレバーを巻上げて、シャッターボタンを押すと、押し続けている間だけシャッターが開き、はなすと閉じて B (バルブ) 露出が行われます。

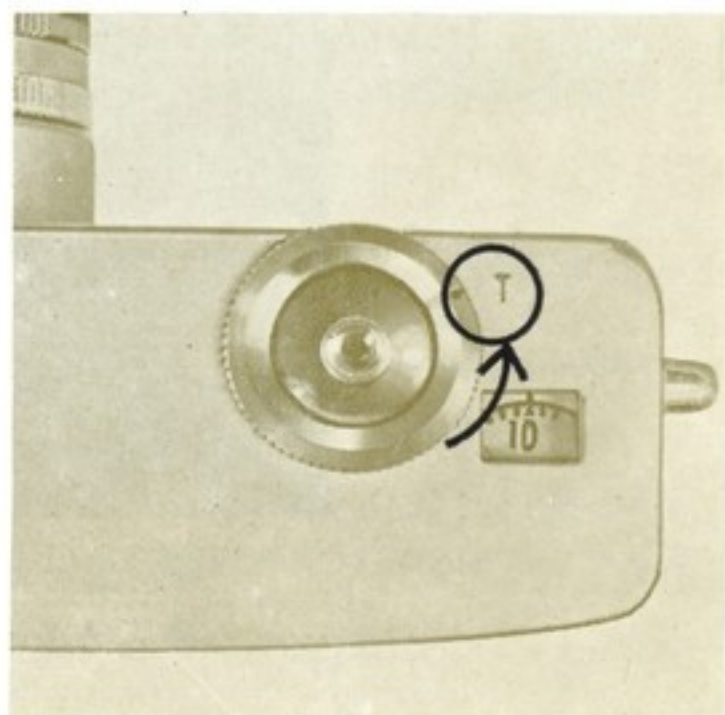
1 秒以上の露出に用います。

- B 目盛はこの B セットレバーを押さないとセットできません。
- B セットレバーは EE 機構の安全装置を兼ねるもので B 目盛のセットにだけ使用します。シャッターリングを B から 1 秒の方へ回すと同時に飛び出して元の状態に戻ります。

### T 露 出

上記の場合、さらにタイムリングを矢印のように回して標点を T に合わせてからシャッターボタンを押すと、手を離してもシャッターボタンは下ったままになっていますから、T (タイム) 露出になります。タイムリングを元に戻すとシャッターボタンが飛び上ってシャッターが閉じます。

- シャッターボタンは、確実にロックされるまで十分に押ししてください。

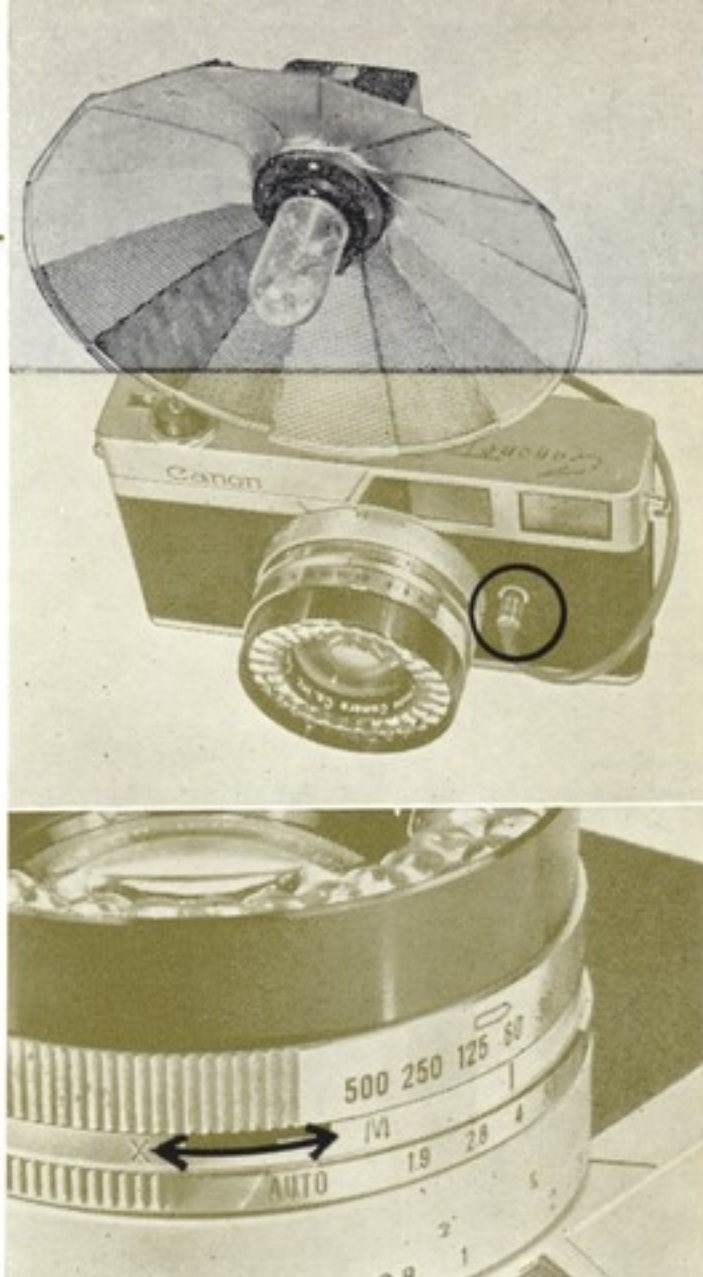


## フラッシュ同調 (手動絞り撮影)

**1** フラッシュユニットをアクセサリシューに取り付け、コードをカメラのフラッシュソケットにさしこみます。

**2** フラッシュバルブはM級、F級のバルブおよびスピードライトが使えますが、その種類によってフラッシュ接点切換えレバーをMまたはXに切換えます。

**3** フラッシュ撮影の場合、絞りはガイドナンバーによってきまります。したがって絞りリングはAUTOをはずして使用することになります。(EE撮影はできません)



フラッシュ 使用表	フラッシュ バルブ		接点	同調範囲
	M	級	M	全シャッタースピード
F	級	X	1/60秒以下の低速	
スピード ライト		X	全シャッタースピード	

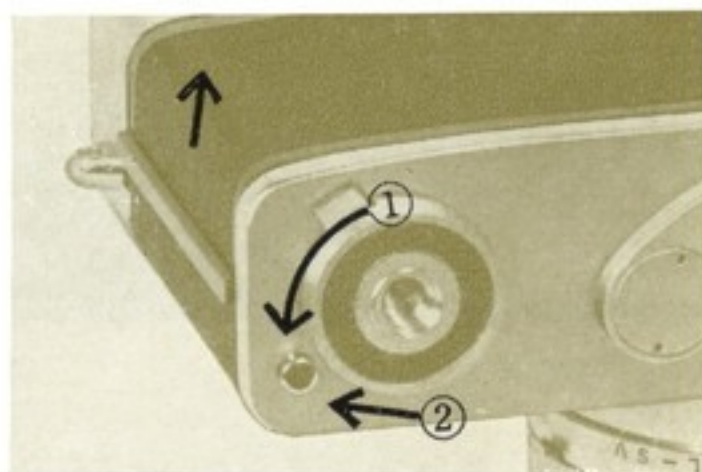


## フィルムのつめ方

フィルムは市販の 35 mm 日中装填用パトローネ入りフィルムを用います。

### 1

裏蓋安全レバーを矢印の方向に回しながら裏蓋開放ボタンを押すと、裏蓋が少し浮上りますからこれを開きます。

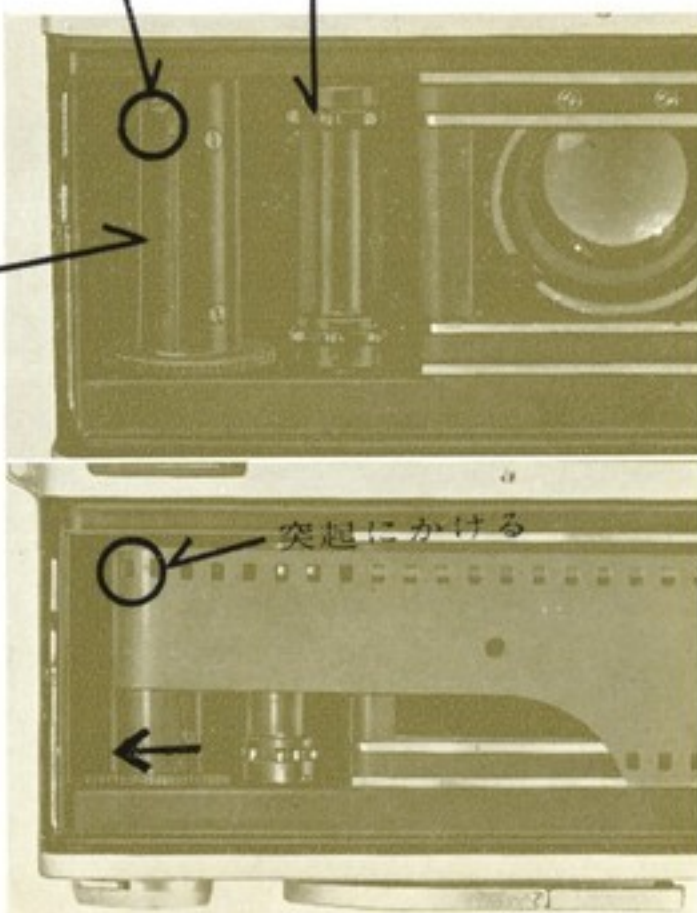


突起 スプロケット

巻取りスプール

### 2

フィルムの端を巻取りスプールに十分差しこみ、スプールのつばを矢印の方向に回しながら上部の突起をフィルムの孔にかけます。



### 3

巻戻しクラックを十分に引出しておいてパトローネをカメラ内に収め、巻戻しクラックを元のように押込みます。フィルムにたるみがあればクラックを右回しに回してたるみを取っておきます。

### 4

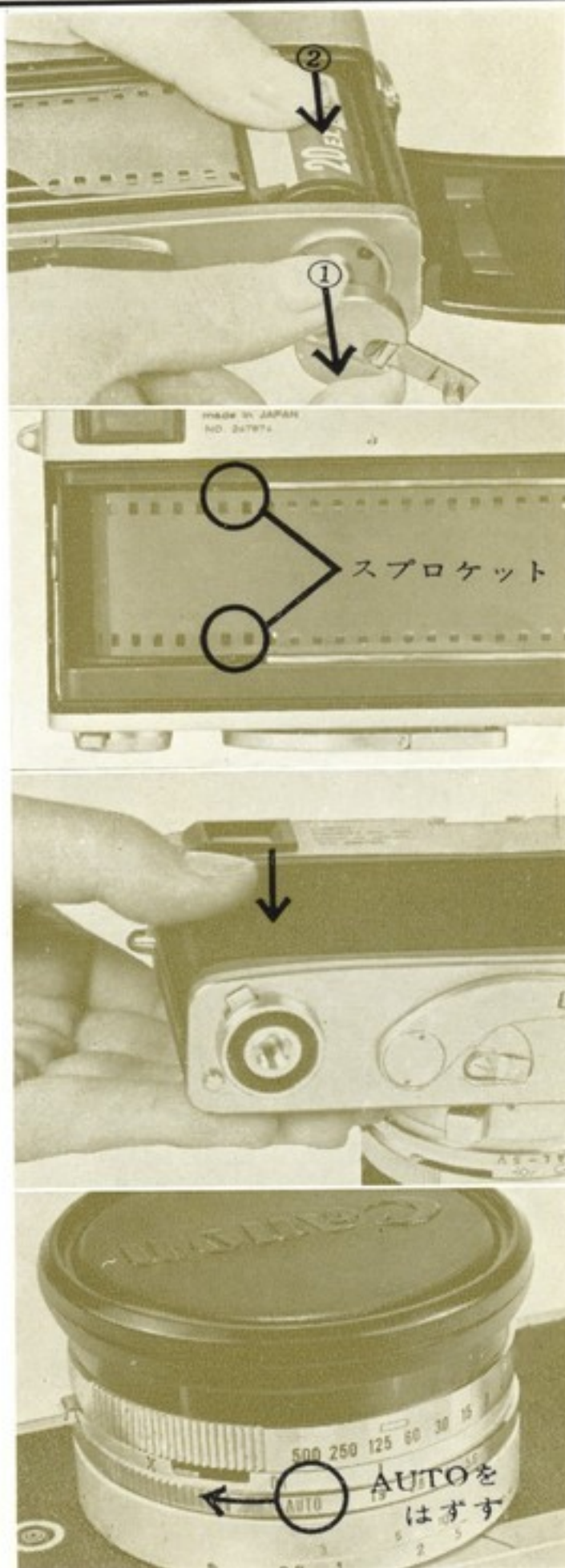
フィルムのパーフォレーション(孔)を正しくスプロケットの歯にかけ、よく確かめたのち、

### 5

裏蓋を閉じます。裏蓋は押すだけで完全にロックされます。

### 6

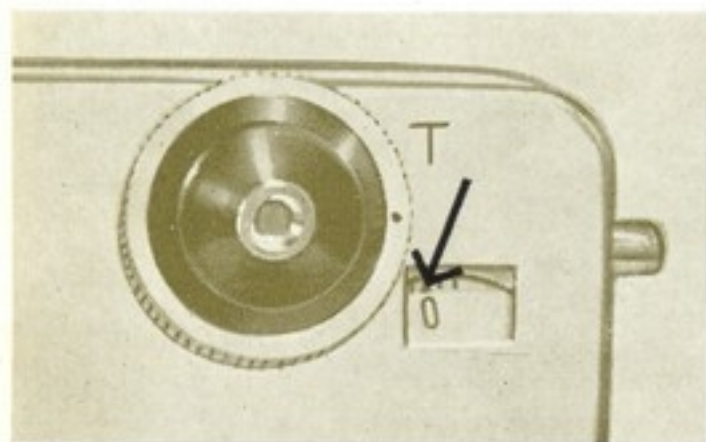
絞りリングを **AUTO** からはずし、レンズキャップをしたままトリガーレバーを巻上げて、シャッターボタンを押す操作を2回繰り返して2枚の空写しを行います。次に巻上げをしますと1枚目の撮影準備ができます。そのさい絞りリングは忘れず **AUTO** に戻しておきます。





註. 絞りリングが **AUTO** のままでは、安全機構がはたらいてシャッターボタンを押してもシャッターが作動しませんから、2度の空写しができません。

### フィルムカウンター (枚数計)



● 巻戻しクラッチレバーは、次のトリガーレバー巻上げで自動的に戻りますが、その前に指先で戻してもさしつかえありません。

トリガーレバーの巻上げにより、フィルムが送られるごとにフィルムカウンターの目盛が1つずつ進んで、フィルムの撮影枚数を示します。

目盛は裏蓋を開くと同時に自動的に復帰します。

## 撮影済みフィルムの取出し

撮影中のフィルムが終りになると、巻上げに抵抗を感じますから巻上げを中止し、次の順序でカメラからその取出しをします。

**1**

カメラ底部の巻戻しクラッチレバーを R の位置に回します。

**2**

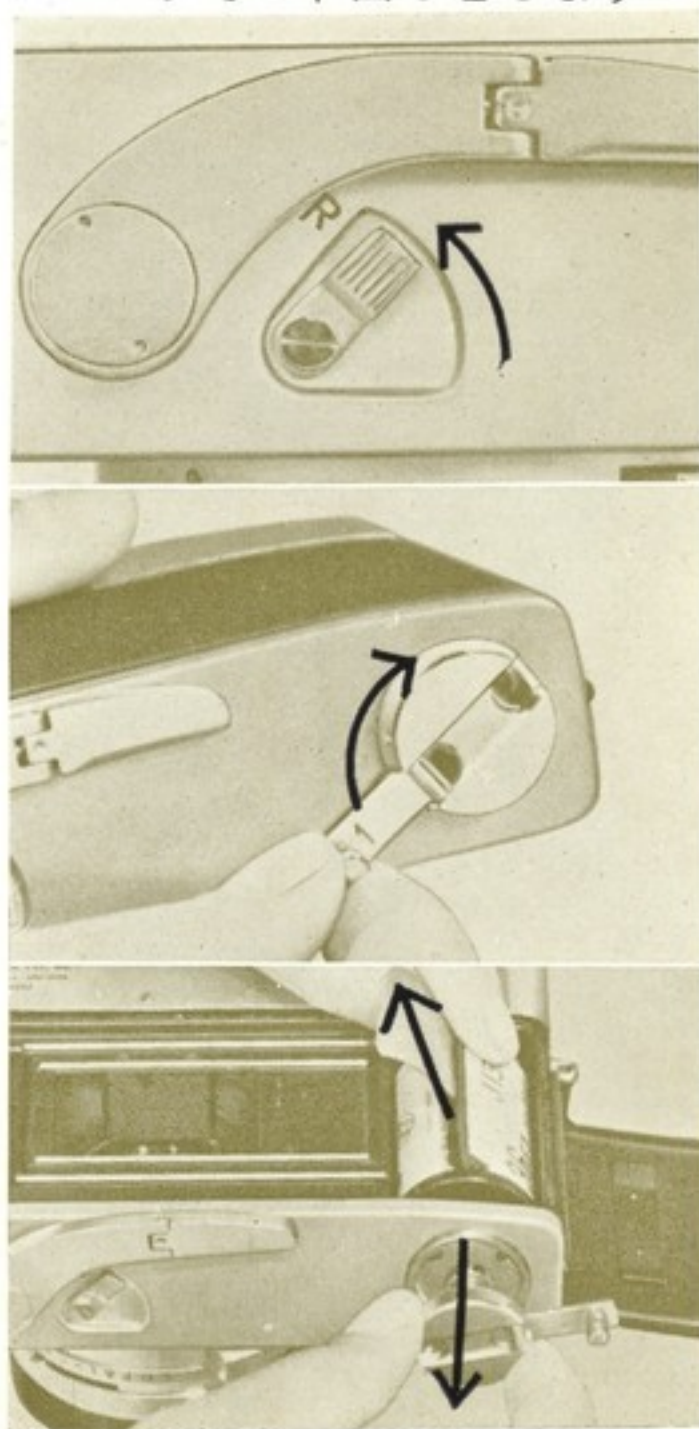
巻戻しクラックをおこして、右回しに回します。完全に巻上がると急に抵抗がなくなつて軽くなりますから、巻戻しを止めます。

**3**

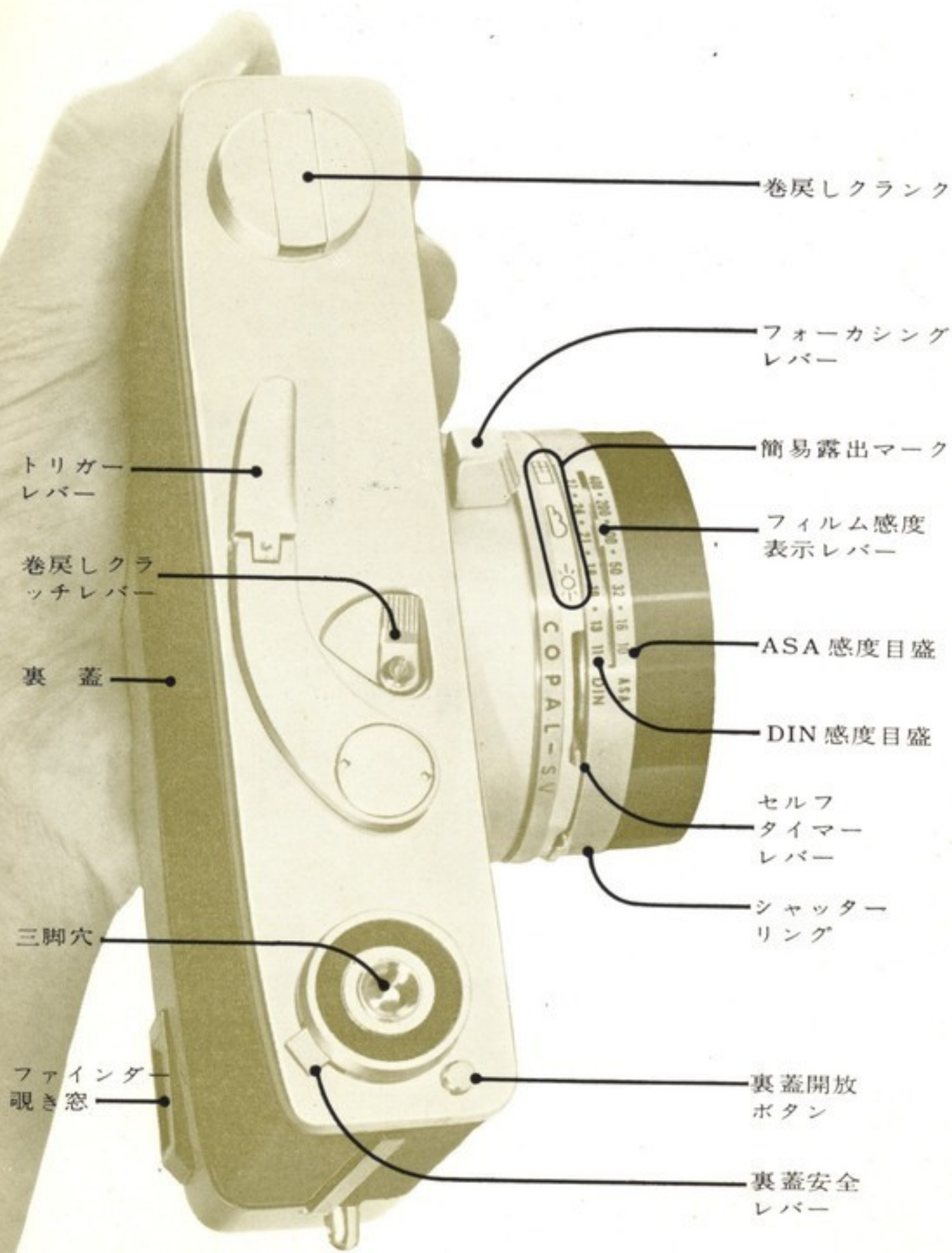
裏蓋を開きます。

**4**

巻戻しクラックを十分引出した後、パトローネを取出します。







巻戻しクランク

フォーカシングレバー

簡易露出マーク

フィルム感度表示レバー

ASA感度目盛

DIN感度目盛

セルフタイマーレバー

シャッターリング

裏蓋開放ボタン

裏蓋安全レバー

トリガーレバー

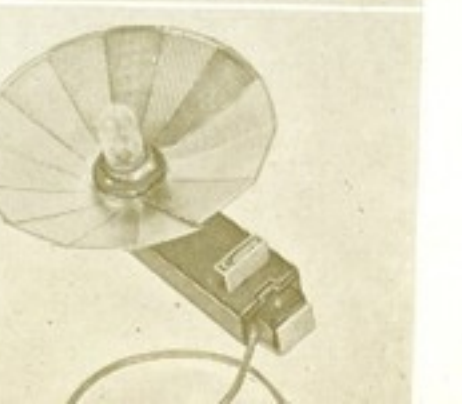
巻戻しクラッチレバー

裏蓋

三脚穴

ファインダー覗き窓

## キヤノネットのアクセサリー



- 締付けレンズフード 450 円  
写界外の有害光線を遮断するのに必要です。また逆向きにしてレンズにかぶせ、さらにレンズキャップを取付けることができます。
- フラッシュユニット J-2 1,050 円  
AG, PH ベースレスアダプター使用可能。万能型。ベースレスアダプター AG, PH 各 90 円
- フラッシュユニット J-3 1,050 円  
ベースレスバルブ専用。PH, AG ソケット切換式
- フラッシュクイント 2,950 円  
5 コのバルブを連続発光させる小型発光器です。AG タイプ専用
- 55 mm ねじ込み式フィルター  
プラスチックケース付 UV Y<sub>1</sub> Y<sub>3</sub> O<sub>1</sub> R<sub>1</sub> G<sub>1</sub>, スカイライト, カラーコンバージョン 各 1,000 円
- 速写ケース 1,700 円
- キヤノンレリーズ 250 円
- EE カバー 逆光撮影用 80 円



# キヤノンカメラ株式会社

東京・大田区下丸子町312 電話 738 大代表2111

## 営業所・サービスステーション

銀座	東京都中央区銀座5-3	(吹原ビル1階)	電話 572-4271-3
八重洲	東京都中央区八重洲3-1	(大久保ビル2階)	電話 271-0391-2
大阪	北区梅田2	(第一生命ビル2階)	電話 361-1261
名古屋	中村区広小路西通3	(大商ビル6階)	電話 581-3811-4
福岡	天神1-11-17号	(福岡ビル9階)	電話 76-2818-1061
広島	広島市鞆町14-11号		電話 21-4615-6
札幌	北三条西4-1	(第一生命ビル4階)	電話 23-5788-22-7322
仙台	東二番丁68	(富士ビル8階)	電話 25-0215-7
新潟	新潟市東大通1-23	(ツルタケビル7階)	電話 44-0758-9
静岡	静岡市御幸町9-2	(大吉野ビル2階)	電話 55-2241